

(5) 主要花きの入荷と価格の見通し

仙台市中央卸売市場 花き市場

(電話) 232-8123

【切花類の概要】

今年は台風等の自然災害、夏場の高温や秋口も気温が下がらず高温にさらされた影響から生育が前進傾向の品目が多く、入荷状況は不安定と見込まれます。遠隔地の出荷についても輸送面の課題が多く産地によって出荷調整などもあり、国内物に関して年末需要期は少ないことが予想されます。一方、輸入品は輸送状況の改善が見られますが、品目によっては品薄が懸念されます。全体的に注文価格の上昇から小売店からの注文数量や購入数量の減少が懸念されます。入荷のピークは12月23日と予想されます。年始は前年並みの入荷は見込まれますが、それ以降は前年より少ない入荷で推移することが予測されます。

【品目別】

キク	輪菊は宮城・栃木・静岡・愛知・福岡・熊本・宮崎・長崎・沖縄産です。猛暑の影響から定植が遅れた産地もあり、入荷数量は減少傾向にあります。ピンポン菊は作付けする産地も増加傾向にあり、安定した入荷が見込まれます。スプレー菊は宮城・栃木・愛知・鹿児島産で、秋口の猛暑や長雨の影響で前年より入荷が少ないと見込まれます。輸入スプレーマムの動向は不透明ですが、国内産地の生育が悪いことから需要が多い予想です。小菊は沖縄産が中心ですが栽培面積が減少しており、前年より少ない入荷が見込まれます。輪菊とスプレー菊に関しては上位等級が少なめで、12月中旬から入荷は増えますが、前年より少ない入荷が見込まれ、価格は上位等級品を中心に前年より高めが予想されます。
バラ	宮城・山形・栃木・静岡・愛知産中心の入荷となります。国産、輸入とも前年より少なめの入荷が見込まれます。猛暑の影響で今年は上位等級が少ないことが予想され12月20日以降は引き合いが強くなり、上位等級を中心に高値相場が予想されます。年始以降は燃料代の高騰で暖房費を抑える傾向にあるものの、入荷は前年から横ばいで推移し、価格は前年より高めが予想されます。
カーネーション	宮城・山形・栃木・静岡・愛知・長崎産中心の入荷となります。大輪系、スプレー系とも猛暑の影響で、前年より草丈は短くやや前進傾向にあり、出荷量は前年から横ばいと見込まれます。品質は前年並みを予想しています。輸入品はコロンビアと中国産中心に前年並の入荷が見込まれます。年明け以降は業務需要中心となり前年並みの価格が予想されます。
マツ	茨城産中心の入荷となります。10月中旬以降は雨が続いたものの、生育は概ね順調でした。猛暑の影響で葉の伸びが一部目立つものもありました。切出し、選別作業が困難でしたが、安定した入荷が見込まれます。根引松、五葉松などの特殊系は少なめの入荷で、やや高めの価格が予想されます。若松は草丈が長めで上位等級が多くなり、3等品は少なめで、前年並みの価格が予想されます。
千両	茨城・千葉・静岡産中心の入荷となります。今年は順調な生育で実付きが良いですが、猛暑の影響で品種により色付きが遅れています。今年は各階級ともバランスの良い入荷が見込まれ、1等品、2等品、3等品とも前年並みの価格が予想されます。

【鉢物類の概要】

11月以降はシクラメン、ポインセチア、シンビジウム等中心の入荷となっています。記録的な猛暑の影響により約半月の生育遅延が生じています。12月上旬はお歳暮商戦に向けた高品質なものが多く入荷します。燃料費や資材費の高騰や人件費の上昇により価格を値上げする産地が増えています。年末年始はヒアシンズ、チューリップなどの球根類とポリアンサやオブコニカ等のプリムラ類、サイネリア・マーガレット等の早春の草花類中心の入荷となります。前年並みの価格が予想されます。

【品目別】

シクラメン	岩手、秋田、宮城、福島、茨城、栃木、群馬、千葉産中心の入荷となります。猛暑の影響で約2週間の生育の遅れが出ています。11月下旬から12月上旬に入荷のピークを迎えます。産地が多く、かなりの入荷増となることが予想されるため、価格は前年並みと予想されます。
シンビジウム	栃木・埼玉・千葉・山梨・愛知産中心の入荷となります。12月上旬から本格的な入荷となりますが、2～3本立ちなどの低価格の物の引き合いは強く、価格は前年並みと予想されます。